



新春のごあいさつ



議長
竹永忠夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

住民の皆様には、平素から町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。昨年は、筑前町が誕生して初めての町議会議員選挙が一月に行われ、18人の議員が誕生しました。早いもので一年を迎えました。町議会といたしましては、議員の資質向上と議会の活性化を図り、議員一丸となって町の発展、議会の円滑な運営に鋭意努力いたしている次第であります。さて、本年は合併して四年目に入り、将来にわたって筑前町が「健全財政で、夢と希望の道に乘せるか否か大きな節目を迎えています。

町の財政事情は多くの自治体と同じく厳しい財政状況にあります。町民のニーズは益々多様化し、限られた財政の中で、いかに町民満足度の高い施策を展開するか、地域間競争に打ち勝つべく重要な課題となっております。財政状況が厳しい中では、一層、執行部と議会が緊張感と連携を保ちつつ、互いに切磋琢磨し、政策を競い合い、地域のために取り組んでいかなければなりません。

こうした状況において、議会としては、提案される政策並びに予算に対して、費用対効果等を見極め、その必要性について適切な判断をし、また、その実施状況についてチェックするとともに、議会としても政策提言・立案機能の強化等を図っていくことが重要と考えております。このため、本年はより一層具現化していくため、町議会では調査研究に重点を置き、「総務・文教厚生・産業建設」の各常任委員会活動の活性化を掲げ取り組みでまいります。

また、議会自らの活性化及び改革に関して研修研鑽に努め、委員会設置を含めた活発な検討・議論を進めてまいります。本年も町議会として、議会の活性化を通じ、町民の皆様と一体となって、住みよい・誇れる『筑前まちづくり』に取り組んでまいります。

筑前町の発展と町民皆様のご健勝・ご活躍を祈念し、また、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。さつといたします。



議場

産業建設常任委員会

委員長 伊藤満孝

「がんばろう筑前町の農業を取りもどせ」豊作の喜びが、一転して嘆きに。

平成十九年度より施行された農政改革の大きな柱である「品目横断的経営安定対策」の実施により町の基幹産業である土地利用型農業の存続が危惧されている。

国はWTO国際ルールに沿った政策としているが、農家にとっては、生産意欲を失うものがあり、深刻化する農業離れに拍車をかけるとの懸念もある。確かに昔のように作れば売れる時代でないことは戸々の農家も承知しているが、作物を栽培することは、一定の所得を得ることは当然の権利であり、この所得の



農政改革を求める総決起大会(農政連三輪支部)

維持、増加を目指し、農家は日々作業に従事している。流した汗が報われないような政策は、断じて許されるものではない。国内自給率向上を唱える国は、理想のみを考え、現場の状況を把握しきれていない。まさに今日の農業情勢は、土地利用型農業だけではなく、原油、飼料等の高騰による経営費増など、園芸畜産を含めた農業全般について、ここで、「どげんかせんといかん」この一言で言い表せられる。

今一度、産業建設委員会として関係機関と協力し筑前町農業の維持、さらに喜びの持てる農業の再現、食育を通じた次世代への農業の継承等の実現をめざしていきたい。



生産者の声を県政・国政へ!!